

ULTIMEA

Dolby Atmos

HDMI™

Bluetooth®



User Manual

Poseidon D80

EN: User Manual

DE: Benutzerhandbuch

JP: ユーザーマニュアル

FR: Manuel de l'Utilisateur

IT: Manuale d'uso

ES: Manual del usuario

Model No.: U2620

Poseidon D80 7.1 Channel Dolby Atmos Soundbar

ULTIMEA Poseidon D80

JP

ユーザー取扱説明書



モデル番号: U2620

うちはご支援
させていただ
く準備が整い
ております。



コードをスキャンして
アプリをダウンロード



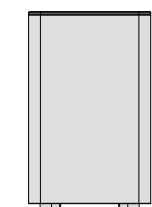
またはGoogle PlayやApple Storeで
"ULTIMEA"を検索してください。
アプリのダウンロード



@ultimea_official

+1 888-598-8875(US) Mon-Fri 9am-5pm(PST)
+49 89-628-25828(EU) Mon-Fri 9am-5pm(CET)

1 付属品リスト



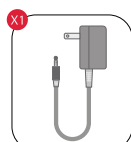
サブウーファー



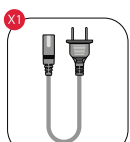
スピーカー



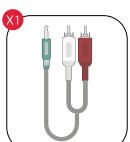
サラウンドスピーカー×4



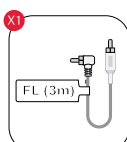
電源アダプター



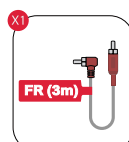
サブウーファー
電源ケーブル



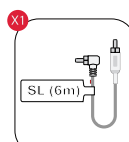
3.5mm-RCAオーディ
オケーブル



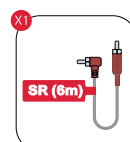
フロント左サラ
ウンドケーブル (3m)



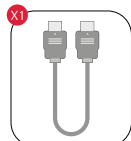
フロント右サラ
ウンドケーブル (3m)



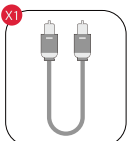
リア左サラ
ウンドケーブル (6m)



リア右サラ
ウンドケーブル (6m)



HDMIケーブル



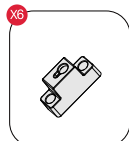
光デジタル
ケーブル



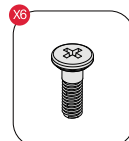
リモコン



壁掛け用ネジ



壁掛け用ブラケット

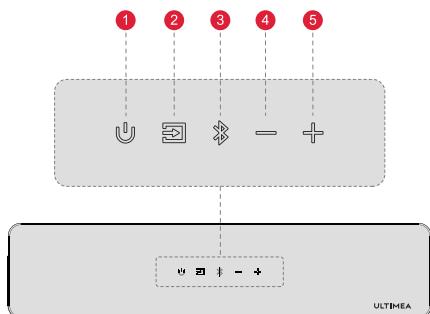


スピーカー取り
付け用ネジ



取扱説明書

2 サウンドバーコントロール

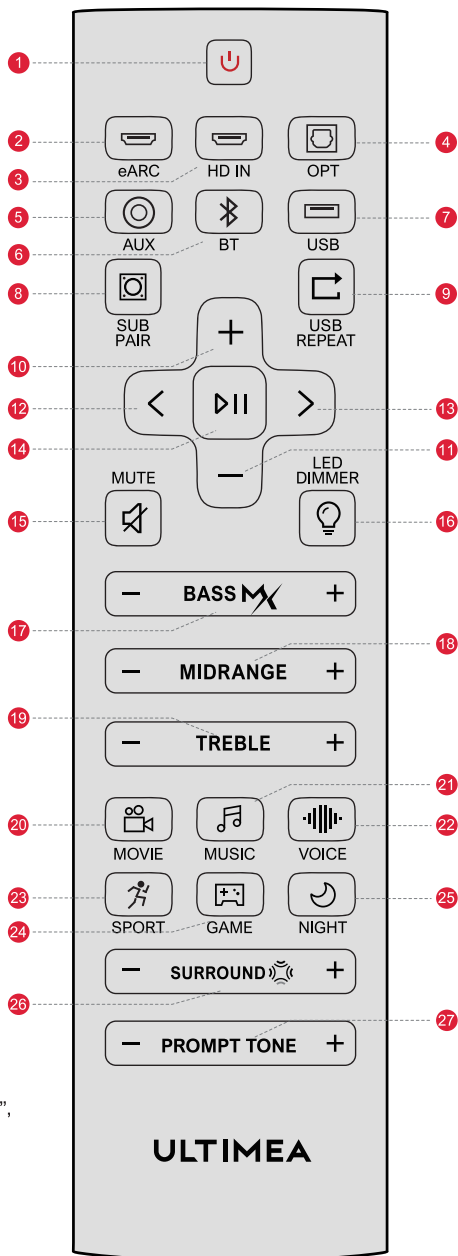


コントロールパネル

- “**U**” : 電源ボタン
電源ボタンを押すと、オン/オフが切り替わります。
- “**□**” : 入力ソース
一回押してチャンネルを切り替え: eARC-HD in(HDMI in)-OPT (optical)-BT-AUX-USB.
- “**Bluetooth**” : Bluetooth
一回押してBTチャンネルに切り替え、ペアリングモードに入ります。
3秒間長押しすると、現在のデバイスが切断され、スマホ/パソコン/TVに手動で接続されている新しいデバイス (BT ID: Poseidon D80) が選択されます。
- “**—**” : ボリュームダウン
- “**+**” : ボリュームアップ

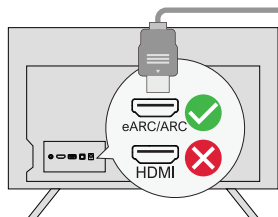
リモコン

- ① “**⏻**”: **電源ボタン**
一回押すと電源がオン/オフ
- ② “**eARC**”: **eARC**
一回押すと HDMI eARC に切り替え
- ③ “**HD IN**”: **HD IN**
一回押すと HDMI IN に切り替え
- ④ “**OPT**”: **OPT**
一回押すと OPTICAL に切り替え
- ⑤ “**AUX**”: **AUX**
一回押すと AUX に切り替え
- ⑥ “**BT**”: **BT**
一回押すと BLUETOOTH に切り替え
- ⑦ “**USB**”: **USB**
一回押すと USB に切り替え
- ⑧ “**SUB PAIR**”: **SUB PAIR**
3秒間押すと、サウンドバーがサブウーファーとペアリングできる状態になり
- ⑨ “**USBリビート**”: **USBリビート**
USBモード: 一回押すと、ワンループ再生とリストループ再生に切り替え
- ⑩ “**+**”: **ボリュームアップ**
- ⑪ “**-**”: **ボリュームダウン**
- ⑫ “**<**”: **前**
BTおよびUSBモードのみ: 前の曲へスキップ
- ⑬ “**>**”: **次へ**
BTおよびUSBモードのみ: 次の曲へスキップ
- ⑭ “**⏮**”: **再生/一時停止**
BTおよびUSBモードのみ
- ⑮ “**🔇**”: **ミュート**
- ⑯ “**💡**”: **LEDディマー**
一回押すと5段階でディスプレイの明るさを調節でき3秒間押すと消灯する
- ⑰ “**BASS MAX**”: **BASSMAX**
ディスプレイは: “B5-6”, “B5-5”, “B5-4”, “B5-3”, “B5-2”, “B5-1”, “B5 0”, “B5 1”, “B5 2”, “B5 3”, “B5 4”, “B5 5”, “B5 6”.
- ⑱ “**MIDRANGE**”: **ミッドレンジ**
ディスプレイには: “MR-6”, “MR-5”, “MR-4”, “MR-3”, “MR-2”, “MR-1”, “MR 0”, “MR 1”, “MR 2”, “MR 3”, “MR 4”, “MR 5”, “MR 6”.
- ⑲ “**TREBLE**”: **TREBLE**
ディスプレイには: “TB-6”, “TB-5”, “TB-4”, “TB-3”, “TB-2”, “TB-1”, “TB 0”, “TB 1”, “TB 2”, “TB 3”, “TB 4”, “TB 5”, “TB 6”.
- ⑳ “**MOVIE**”: **MOVIE**
MOVIEモードに切り替わり: ディスプレイに MOVIE と表示され
- ㉑ “**MUSIC**”: **MUSIC**
MUSICモードに切り替わり: ディスプレイに MUSIC と表示され
- ㉒ “**VOICE**”: **VOICE**
VOICEモードに切り替わり: ディスプレイに VOICE と表示され
- ㉓ “**SPORT**”: **SPORT**
SPORTモードに切り替わり: ディスプレイに SPORT と表示され
- ㉔ “**GAME**”: **GAME**
GAMEモードに切り替わり: ディスプレイに GAME と表示され
- ㉕ “**NIGHT**”: **NIGHT**
NIGHTモードに切り替わり: ディスプレイに NIGHT と表示され
- ㉖ “**SURROUND**”: **サラウンド**
サラウンドサウンドレベル調整:
“SR-6”, “SR-5”, “SR-4”, “SR-3”, “SR-2”, “SR-1”, “SR 0”, “SR 1”, “SR 2”, “SR 3”, “SR 4”, “SR 5”, “SR 6”.
- ㉗ “**PROMPT TONE**”: **プロンプトトーン**
プロンプトトーンレベル調整: “PT 0”, “PT 1”, “PT 2”, “PT 3”.

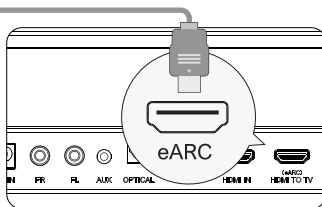


3 ARC 経由でテレビに接続する

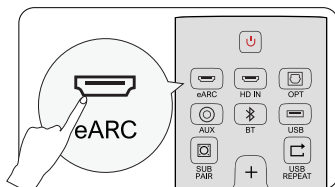
JP



ステップ 1:
HDMIケーブルの一端をテレビのeARC / ARCポートに接続します。



ステップ 2:
もう一方の端子をサウンドバーのARCポートに接続します。



ステップ 3:
リモコンの「ARC」ボタンを押して「ARC」入力を選択します。

注:

テレビの「CEC」機能をオンにしてください。ARCを接続すると、テレビのリモコンでサウンドバーとテレビを同時に操作できます: スイッチのオン/オフで音量を調整する 音が出ない場合: テレビの音声出力をPCMに設定してみてください: テレビの設定>ホーム>設定>サウンド>デジタル音声出力>PCM

HDMI IN、HDMI ARC、HDMI eARCの違いは何ですか?

HDMI IN は標準的なHDMI入力で、デバイスをテレビやオーディオシステムに接続することができます。オーディオ信号とビデオ信号の両方に対応していますが、オーディオ・リターン・チャンネル (ARC) やエンハンスド・オーディオ・リターン・チャンネル (eARC) 機能には対応していません。

HDMI ARC は、テレビとオーディオシステム間の双方向通信をサポートする特別なタイプのHDMIポートです。つまり、音声を テレビからオーディオシステムに音声を送信し、オーディオシステムからテレビに音声を送り返すことができます。

HDMI eARC (Enhanced Audio Return Channel) は、HDMI ARCのアップグレード版で、ドルビーアトモスやDTS:Xなど、より高品質なオーディオフォーマットをサポートします。AtmosやDTS:Xなどの高音質フォーマットに対応しています。

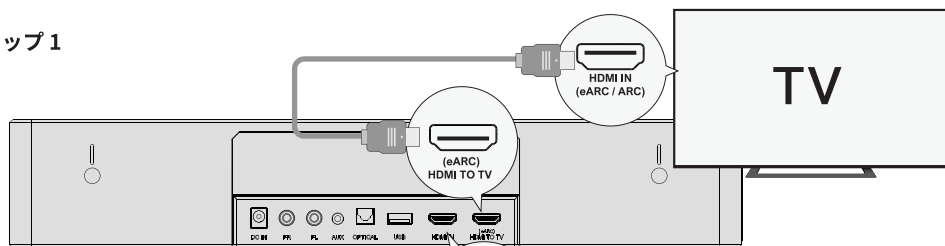
注意: テレビの「CEC」機能をオンにしてください。

eARC / ARCが接続されている場合、テレビのリモコンでサウンドバーとテレビを同時に操作できます:

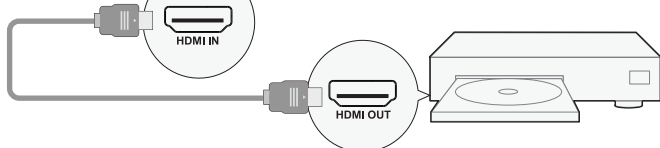
- ① オン/オフ
- ② 音量の調整

4 HDMI eARC/ARC経由でテレビに接続

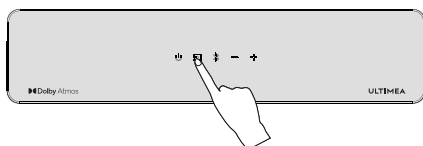
ステップ 1



ステップ 2



ステップ 3



ステップ 1: HDMIケーブルをサウンドバーのHDMI OUT (eARC)ポートに接続し、もう一方をテレビのeARC / ARCポートに接続します。

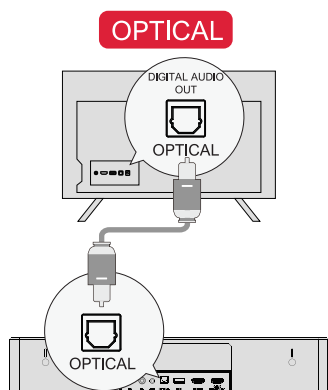
ステップ 2: HDMIケーブルを他の機器 (DVDやゲーム機など) のHDMI OUTポートに接続し、もう一方をサウンドバーのHDMI INポートに接続します。

ステップ 3: サウンドバーまたはリモコンの "ARC" ボタンを押して、HDMI INチャンネルに切り替えます。

Anmerkung: Ihr HDMI-Fernseher muss eARC unterstützen, um das Dolby Atmos-Audioformat an Ihre Soundbar zu übertragen.

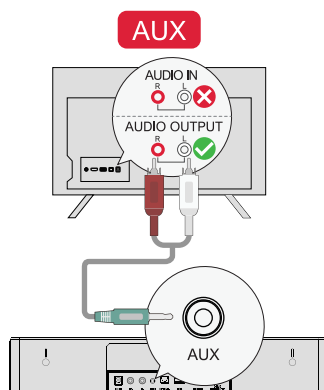
5 光ファイバー/AUXケーブルによるテレビの接続

JP



接続方法 1: OPTICAL

- ① テレビとサウンドバーからのケーブルの両端をOPTICALポートに接続し、テレビのポートがOPTICAL OUTであることを確認します。
 - ② 光プラグが図のように正しく差し込まれていることを確認してください。光ファイバーが断線する恐れがあるため、プラグを逆に差し込まないでください。
- 注: テレビの内蔵スピーカーから音声が再生されている場合は、テレビの音量をミュートまたは最小にしてください。



接続方法 2: AUX

- ① 3.5mmオーディオケーブルをテレビのRCA AUDIO OUTポートに接続します。
 - ② ケーブルの端の色がテレビのポートの色と一致していることを確認してください。
- 注: 他のモードに切り替える場合は、テレビとサウンドバーからAUXケーブルを抜いてください。

オプティカルモードの場合: 音が出ない場合は、テレビの音声出力をPCMに設定してみてください:
TV Setup > Home > Settings > Sound > Digital Audio Output > PCM

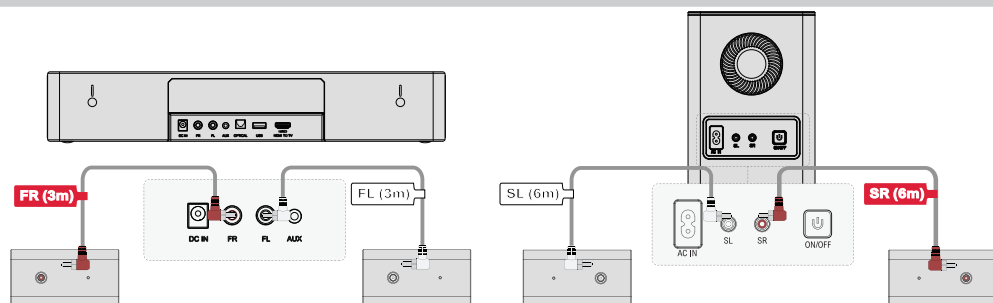
6 Bluetooth®への接続

- ① スピーカーまたはリモコンの"Bluetooth"ボタンを押して、Bluetoothペアリングモードに入ります。
- ② 携帯電話のBluetooth設定を開き、"Poseidon D80"を見つけて選択し、スピーカーに接続します。

注: Bluetoothモードに入って接続した場合は、"Bluetooth"ボタンを3秒間長押しして現在のデバイスを切断し、携帯電話/コンピュータ/テレビで新しいデバイスに手動で接続してください。



7 サウンドバーとサブウーファーにスピーカーを接続します



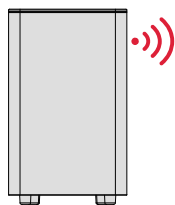
- ① フロントサウンドケーブル (FL / FR) を使用して、サウンドバーとサラウンドスピーカーを接続します。サラウンドスピーカーの同じ色のコネクタとサウンドバーの対応する接続端子を合わせ、それに合わせてサラウンドスピーカーを配置してください。

- ② リアサウンドケーブル (SL / SR) を使用して、サブウーファーとサラウンドスピーカーを接続します。後方ステレオRCA-RCAケーブルを使用してください。スピーカーの同じ色の接続端子とサブウーファーの対応する接続端子を一致させ、それに合わせてスピーカーを配置してください。

注: 上記のようにサラウンドスピーカーを接続すると、スピーカーの正面を向いたとき (図示のとおり)、右側の2つのサラウンドサテライトスピーカーには赤色端子が付き、左側の2つのサラウンドサテライトスピーカーには白色端子が付きます。最良のオーディオ体験を保证するために、それらの位置を確認してください。

8 サブウーファーのペアリング

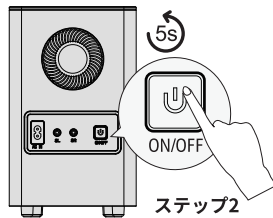
JP



サブウーファーは工場経由でサウンドバーとペアリングされています。
サブウーファーから音が出ない場合は、サウンドバーとサブウーファーを再度ペアリングする必要があります。



ステップ1

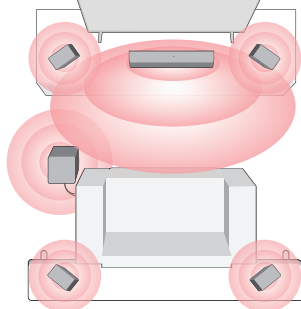


ステップ2

ステップ1:
リモコンの「SUB PAIR」ボタンを3秒間押し続けると、ディスプレイには[SUB]と表示され、点滅します。
ステップ2:
サブウーファーのオン/オフボタンを5秒間押し続けると、白いLEDが急速に点滅します。
サブウーファーのペアリングが成功すると、白色LEDが常時点灯します。

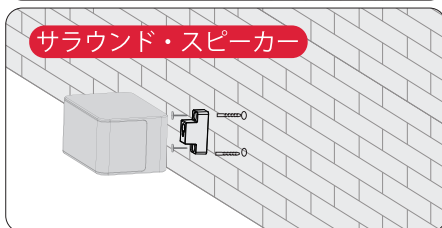
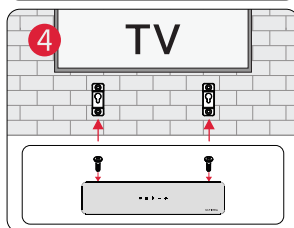
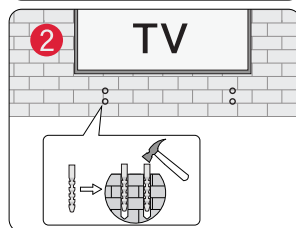
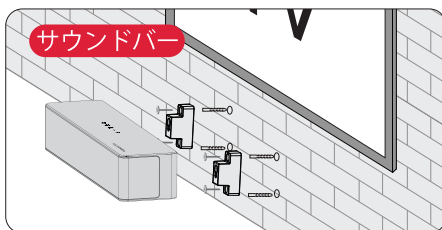
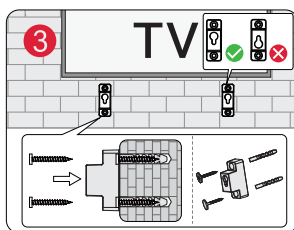
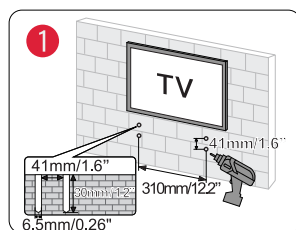
9 配置に関する提案

360°フルサラウンド



より良いリスニング体験のために、システム全体を上図のように配置してください。

10 壁掛け



注：壁掛けサラウンドスピーカーの構成は上図と同じです。

モデル番号	U2620
電源供給	AC 100-240V, ~50/60Hz
サウンドボードドライバー	2.25ch × 3 (サウンドバー) + 2.25ch × 4 (サラウンドスピーカー) + 6.5ch(サブウーファー)
周波数帯域	35Hz - 18kHz
待機電力	<0.5W
動作温度	-10°C - 45°C/14°F - 113°F

外形寸法と重量	
サウンドバー	400 (W) × 70 (H) × 90 (D)mm 15.7" × 2.8" × 3.5"
サブウーファー	185 (W) × 288 (H) × 260 (D)mm 7.3" × 11.3" × 10.2"
サラウンド・スピーカー	135 (W) × 70 (H) × 90 (D)mm 5.3" × 2.8" × 3.5"
包装	476 (W) × 338 (H) × 346 (D)mm 18.7" × 13.3" × 13.6"
正味重量	7.9kg / 17.4lbs
総重量	10.4kg / 22.9lbs

SAFETY INSTRUCTIONS

Please read this user manual carefully and save it for future reference.

Do not make unauthorized alterations to the product, doing so may compromise safety, regulatory compliance, system performance, and may void the warranty.

- Avoid dropping.
- Do not disassemble.
- Do not submerge in water
- Avoid extreme temperatures.
- Do not use the device outdoors during thunderstorms.
- Use original or certified cables.
- Do not place dangerous items on top of this device (e.g. liquid filled objects, lit candles).
- Clean with a dry, soft lint-free cloth. Do not use any corrosive cleaner or oil.
- To avoid hearing damage, do not listen for extended periods at high volume.
- Do not expose the batteries to extreme heat sources such as direct sunlight or open flames.
- The ideal operating temperature for this product and its accessories is between 41°F/5°C and 95°F/35°C.
- The adapter should be installed near the device and should be easily accessible.
- Do not use this product in environments of extreme heat or cold. Never expose this device to strong sunshine or wet environments.

PROPER DISPOSAL INSTRUCTIONS



This mark shown on the product or its packaging, indicates that this product should not be disposed of with other household waste at the end of its working life.

To prevent possible harm to the environment or human health from uncontrolled waste disposal, please separate this from other types of wastes and recycle it responsibly to promote the sustainable reuse of material resources.

Waste Electrical & Electronic Equipment

Household user should contact either the retailer where they purchased this product, or their local government office, for details of where and how they can take this item for environmentally safe recycling.

Business users should contact their suppliers and check the terms and conditions of the purchase contract. This product should not be mixed with other commercial wastes for disposal.

FCC REGULATORY COMPLIANCE

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio / TV technician for help.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20cm between the radiator & your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

ISED WARNINGS

This device contains licence-exempt transmitter (s) / receiver (s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS (s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

The device meets the exemption from the routine evaluation limits in section 2.5 of RSS 102 and compliance with RSS-102 RF exposure, users can obtain Canadian information on RF exposure and compliance.

Le dispositif rencontre l'exemption des limites courantes d'évaluation dans la section 2.5 de RSS 102 et la conformité à l'exposition de RSS-102 rf, utilisateurs peut obtenir l'information canadienne sur l'exposition et la conformité de rf.

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 centimeters between the radiator and your body.

Cet émetteur ne doit pas être Co-placé ou ne fonctionnant en même temps qu'aucune autre antenne ou émetteur. Cet équipement devrait être installé et actionné avec une distance minimum de 20 centimètres entre le radiateur et votre corps.

Declaration of Conformity

We (Manufacturer is responsible for this declaration)
Ultimea Technology (Shenzhen) Limited
(Company name)

20th Floor, Building 4, Tianan Cloud Park, Bantian St.,
Longgang District Shenzhen, China 518000
(Company address)

Declare under our sole responsibility that the product
Trade Mark: ULTIMEA
Product Name: Poseidon D80 7.1 Channel Dolby
Atmos Soundbar
Model No.: U2620
To which this declaration relates is in conformity with
the essential requirement set out in the Council Directive
on the Approximation of the laws of the Member States
relating to RED Directive (2014/53/EU) & RoHS (2011/
65/EU) product is responsible to affix CE marking, the
following standards were applied:

EN 55032:2015/A1:2020
EN 55035:2017/A11:2020
EN IEC 61000-3-2:2019/A1:2021
EN 61000-3-3:2013/A2:2021
ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)
ETSI EN 301 489-17 V3.2.4 (2020-09)
ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)
EN 50663: 2017
EN IEC 62368-1:2020+A11:2020
IEC 62321-3-1:2013
IEC 62321-4:2013+A1:2017
IEC 62321-5:2013
IEC 62321-6:2015
IEC 62321-7-1:2015
IEC 62321-7-2:2017
IEC 62321-8:2017

Full Name: Yoyo.Yu
Position: Approbation Manager
Signature: 
Place/Date: Shenzhen, China / June. 20-2024

Trade Marks:



Dolby, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright© 2012-2021 Dolby Laboratories. All rights reserved.



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Soundlab Technology Co.,Ltd. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

ULTIMEA

Poseidon D80 7.1 Channel Dolby Atmos Soundbar
Model No.: U2620

EC	REP	Ultimea GmbH Buchenring 57, 22359 Hamburg, Germany
UK	REP	EVATOST CONSULTING LTD Office 101 32 Threadneedle Street, London, United Kingdom, EC2R 8AY

@Dyanic Inc. All rights reserved, registered in the United States and other countries.
9804 Crescent Center Drive, Suite 604, Rancho Cucamonga, CA 91730

Made in China



Manufacturer: Ultimea Technology (Shenzhen) Limited
Address: 20th Floor, Building 4, Tianan Cloud Park,
Bantian St., Longgang District, Shenzhen, China 518000

If you need our support, kindly reach out to our service team. We are always glad to help.

+1 888-598-8875 (US)
Mon-Fri 9am-5pm (PST)
+49 89-628-25828 (EU)
Mon-Fri 9am-5pm (CET)

 support@ultimea.com
 support.ultimea.com



@ultimea_official